

(別添2)

No.	1
策定年月	令和4年3月
見直し年月	

麦・大豆産地生産性向上計画  
福井市産地  
(作成主体:福井市農業地域再生協議会)

1. 麦・大豆の生産性向上・生産強化に向けた方針

本市は、冬季積雪があることから、水稻単作が行われ、その約64%が主食用米の作付となっている。一方、土地改良事業を積極的に推進してきたことにより、農用地域においては、集落を単位とするブロックローテーションが定着し、大麦と大豆あるいはそばとの2年3作体系が定着している。

しかし、主食用米の国内需要が減少する中、加工用米等の生産拡大、園芸品目の導入等と併せて、麦・大豆の生産を更に拡大し経営所得の安定化を図る必要がある。

麦・大豆の生産拡大にあたっては、離農者が増加し担い手への集積が急速に進む状況を踏まえ、効率的作業を可能とする生産性の高い麦・大豆産地づくりを推進していく。

また栽培品種に関しても、実需と密接に連携し需要が拡大基調である品種へ生産を移行していくとともに、単収の安定を実現できる品種への切り替えを推進する。

## 2. 麦・大豆生産の現状と課題

### (1) 需要に応じた生産の現状と課題

現在、JA福井県を通じて加工業者へ販売しているが、近年の作付け面積、販売数量は横ばいである。主食用米からの転換作物として生産拡大が必要な作物であるため、実需者ニーズに応じた価格・品質等を目指す生産を行う必要がある。

### (2) 生産における現状と課題

大麦及び大豆について、作付面積は近年微増傾向で推移しているが、単収が不安定な状況である。単収が不安定な原因として、天候不順による生育不良や、同じ圃場での作付け頻度の増加による地力低下等が考えられる。よって、土壌診断に基づいた地力の回復、施肥や土壌改良資材の施用等の実施等が課題となってくるが、生産者の高齢化や、土壌診断や土壌改良資材等の掛かり増し経費の捻出が難しいこと等から、あまり改善が進まないのが現状である。また、圃場によっては、溝堀機(トレンチャー等)が入れず、排水不良となる等、農地のインフラ整備が課題となる場合や、麦・大豆に必要な農作業機がない事も課題となる場合がある。

### (3)実績

#### ① 生産量

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		令和元年産	令和2産	令和3年産(現状)	令和元年産	令和2産	令和3年産(現状)	令和元年産	令和2産	令和3年産(現状)
小麦										
大麦		(886) 886	(919) 919	(968) 968	(335) 335	(291) 291	(320) 320	(2,970) 2,970	(2,670) 2,670	(3,095) 3,095
作物計		(886) 886	(919) 919	(968) 968	(335) 335	(291) 291	(320) 320	(2,970) 2,970	(2,670) 2,670	(3,095) 3,095

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		令和元年産	令和2産	令和3年産(現状)	令和元年産	令和2産	令和3年産(現状)	令和元年産	令和2産	令和3年産(現状)
大豆		(431) 431	(386) 386	(386) 386	(121) 121	(120) 120	(159) 159	(522) 522	(464) 464	(615) 615
作物計		(431) 431	(386) 386	(386) 386	(121) 121	(120) 120	(159) 159	(522) 522	(464) 464	(615) 615

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 計画策定時に数値が把握できる直近3年の実績を記載する。麦と大豆で年産が異なっても良い。

※ 年産は必要に応じて適宜書き換えて使用すること。

※ 麦は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)

## ② 団地化

作物名	品種名	年産		年産		令和3年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
小麦								
大麦						792	81.8%	
作物計						792	81.8%	

作物名	品種名	年産		年産		令和3年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
大豆						326	84.5%	
作物計						326	84.5%	

※ 原則田の数値を記載するが、畑を含んでいる場合は、田の数値を括弧書きで記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 団地化率は、団地化面積が当該品目の作付面積に占める割合を指す。現状数値以外は把握できる範囲の記載で良い。

※ 品種毎の記載が困難な場合は、麦全体及び大豆全体の数値のみの記載で良い。

## ③ 団地化率の計算に用いる団地の基準・考え方

県の団地基準面積の1haで団地化率を算出する。

※ 都道府県の団地基準面積値を使用している場合は、その旨記載すること。

※ 都道府県の団地基準面積値と異なる場合は、必ず記載すること。